



福井大学 (福井県)



充実した個別指導と学生のニーズに即したカリキュラムの作成

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 概要

福井大学は、教育学部、医学部、工学部、国際地域学部の4学部、及び大学院教育学研究科、大学院医学系研究科、大学院工学研究科、大学院福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科の4研究科からなる。

2) 教員・学生数 (2018年5月時点)

学生数 (正規生) : 学部生 4,039名
大学院生 1,010名
教員数 : 623名



【文京キャンパス】

② 国際交流の実績 (2018年10月時点)

留学生在籍数 : 236名 (25カ国・地域)
学術交流協定数 : 83 (大学間)、62 (部局間)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生 (日研生) の受入れ実績

2018年 : 留学生数236人、日研生1人
2017年 : 留学生数208人、日研生0人
2016年 : 留学生数200人、日研生1人

④ 地域の特徴

福井市は、日本のほぼ中央に位置し、美しい自然と豊かな文化遺産に恵まれたところである。日本海に面し、古くは大陸諸国と都を結ぶ玄関口として重要な位置を占め、その長い歴史と伝統、そして四季折々の変化に富んだ美しい自然は、日本の典型的な風情を漂わせている。

■コースの概要

① 研修目的

(b) 日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

② コースの特色

- ・主に日本語教育科目を履修し、日本語能力を向上させ、日本文化について理解を深める。
- ・本学の他の留学生や日本人学生と一緒に共通教育科目及び専門科目を履修し、単位の修得を目指す。
- ・各学期7科目以上受講すること。
- ・授業科目 : 日本語・日本文化研修留学生のための特別な授業科目はない。

③ 受入定員

5名 (大使館推薦3名、大学推薦2名)

④ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講希望するには、以下の条件を満たすことが望ましい。

- ・日本語能力検定試験N2以上
- ・日本語・日本文化・教育などに関心があり、関心のある分野での研究学習歴があること。

⑤ 達成目標

コース修了時には、日本語能力検定試験N1程度の能力を有することを旨とする。

⑥ 研修期間

2019年10月1日 ~ 2020年9月30日
修了式は9月中旬予定

⑦ 研修科目の概要・特色

授業は原則として、前期・後期各15週開講する。以下の科目から、各学期7科目以上受講すること。各科目の内容は変更となる場合がある。

1) 必須科目

※以下の日本語教育科目より選択必修とする。

【日本語A（中級）】（1単位/30時間）

内容を整理しながら話したり、相手を意識して伝えることを目指し、様々なテーマ、状況を設定して、話す練習をする。さらに、相手の話を整理しながら聞き、それに適切な応答ができるようになる練習も行う。

【日本語B（中級）】（1単位/30時間）

依頼、許可など、それぞれの場面で、相手に応じた表現を使って、相手との関係を維持し、目的を達成できるようになる。

【日本語C（中級）】（1単位/30時間）

大学生活で必要なメールやレポートの書き方の基礎を学ぶ。最初の2、3週間で日本語でのメールの書き方を学び、その後、レポートを書くために必要な、客観的な文章の書き方、根拠の示し方、意見の述べ方などを学ぶ。

【日本語D（中級）】（1単位/30時間）

文章の内容を一文ごとに把握するのではなく、文章全体として何を主張しているのかを把握した上で、その文章に対する意見を持ったり、他の学生と意見交換することを通して思考を深めていくことを目指す。

【日本語E（上級）】（1単位/30時間）

フォーマルな場面の議論において、正確に自分の考えや意見を表現し、考えと考えの間の関係を明確にしながら、活発な議論に参加できるようにする。その場にふさわしい丁寧さでコミュニケーションができる。

【日本語F（上級）】（1単位/30時間）

講義やゼミなどで自分の意見、主張等をプレゼンテーションソフトを用いながら、わかりやすい日本語で論理的に示すことができるようになるための練習を行う。

【日本語G（上級）】（1単位/30時間）

長く複雑な文章を繰り返し読むことにより、その内容を詳細に理解できるようになる。また、補助的な視点、理由、関連する事例を詳細に加えて、特定の視点からの論を展開し、ある程度の長さの文が書けるようになる。

【日本語H（上級）】（1単位/30時間）

日本語の一般書を読んで、その内容をレジュメの形にまとめて、わかりやすく他者に報告する。それをもとに話し合いながら内容についての理解を深め、その上で自分の意見をミニレポートとしてまとめる。学期の最後には総まとめのレポートを執筆する。

【応用日本語I（上級）】（2単位/30時間）

日本語によるインタビュー活動を日本人学生や地域の人を対象に行う。この活動を通じて、話す、聞くのような日本語能力を伸ばすだけでなく、日本や日本人に対する理解を深めることを目指す。

【応用日本語II（上級）】（2単位/30時間）

グループで取材に行き、それを新聞の形にまとめる。その活動を通じて、日本語による情報収集を行う技術を身につけたり、わかりやすい日本語で情報を発信したりする。自分の興味のあることや独自の視点を掘り下げることにより、それらについて理解を深める。さらに、ほかの学生と一つのことについて話し合い、一緒に活動することによって、お互いの見方を知り、コミュニケーション能力を磨く。

【日本事情A（春学期）】

【日本事情B（秋学期）】

（各2単位/30時間）

福井県には東尋坊などの観光名所や越前焼などの名産品がある。この授業ではこうした福井県の文化を取り上げて、日本語による講義と現地での体験学習を通して、福井県の文化についての理解を深め、併せて日本語能力の向上を図る。

【日本の文化（春学期/秋学期）】

（各2単位/30時間）

福井市内の博物館や美術館、庭園（養浩館庭園）などの地域の文化施設と連携し、博物館の展示品の見学や庭園の散策などの校外学習を取り入れ、日本語による講義と校外学習の双方から日本の文化について学習する。

【多文化コミュニケーションA】

【多文化コミュニケーションB】

【多文化コミュニケーションC】

（各2単位/30時間）

国境を越えて多面的な交流が進むグローバル化時代には、異なる価値観や世界観を互いに理解し、認め合い、互いが協力して諸問題を解決し、仕事を組み立てられる人材が求められる。このクラスでは、その基礎となる力を育む。

※以上の科目に加え各所属学部の専門科目から各学期2科目選択して履修すること。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

上記の科目のうち「日本事情A、B」及び「日本の文化」が該当。

3) 修了研究の内容

該当なし。

4) 日本人学生との共修の機会

上記の科目のうち、「多文化コミュニケーションA、B、C」が該当。

5) その他の講義、選択科目等

【共通教育科目・専門科目】

本人の希望により、その他の共通教育科目、及び教育学部・工学部・国際地域学部の専門科目の中から適宜受講できる。

⑧ 年間行事・年間スケジュール

9月20～21日 渡日

9月下旬 オリエンテーション

12月 京都日帰り見学旅行

1月 留学生との交歓会

1～2月 留学生向けスキー旅行

8月 サマーキャンプ

9月下旬 帰国

その他、各種学生イベントを実施している。
また、地方自治体や民間団体主催の見学会・
交流活動等も随時実施されている。



[スキー旅行]

⑨ 指導体制

1) プログラム実施機関

国際センター、語学センター

2) 指導体制

留学生一人一人に受入教員をつけ学業面の
指導を行う。生活面については国際課が
支援する。

⑩ コースの修了要件

上記⑦掲載科目から10科目かつ合計20単位
以上を修得すること。

■ 宿 舎

留学生会館

- 部屋数 29室（単身用：25、夫婦用：2、家族用：2）
- 宿舎費月額
単身用：5,900円、夫婦用：11,900円、家族用：14,200円
- 共益費 3,000円
（水道光熱費、洗濯機使用料含まず）
（インターネット使用の場合別途契約）
- 宿舎設備・備品：ミニキッチン、ユニットバス、トイレ、
机、イス、ベッド、冷蔵庫、本棚、スタンド、空調機等
- 共用設備：シャワー、洗濯機、乾燥機（各1回100円）

国際交流学生宿舎

- 部屋数 209室（日本人学生との混住）
- 宿舎費月額：単身用のみ：4,700円
- 共益費 1,000円
（水道・電気料、洗濯機使用料含まず）
（インターネット使用の場合別途契約）
- 宿舎設備・備品：ミニキッチン、トイレ、机、イス、
ベッド、冷蔵庫、本棚、空調機等
- 共用設備：シャワー、洗濯機、乾燥機（各1回100円）

牧島ハウス

- 部屋数 18室
- 宿舎費月額：11,000円
- 共益費 3,000円
（水道・電気料、洗濯機使用料含まず）
（インターネット使用の場合別途契約）
- 宿舎設備・備品：ミニキッチン、ユニットバス、トイレ、
机、イス、ベッド、冷蔵庫、本棚、スタンド、空調機等
- 共用設備：シャワー、洗濯機、乾燥機（各1回100円）

宿舎周辺の生活情報・通学時間

キャンパスまで歩いて7分。周辺には、電車の駅や、
スーパーマーケット等がある。大学宿舎の入居期間は1年のみ。
空室が少ないため、希望者全員が入居できるとは限らない。
入居できない場合は民間アパートに入居。その費用に
ついては、各自負担。

（参考：市内のアパート家賃月額 約30,000円）

■ 修了生へのフォローアップ

本学では、留学生同窓会をアジアを中心に
現在までに15支部を設立し、各国支部と連携
している。その活動を推進するために、
国際センターネットワーク誌「こころねっと」を
発行し、帰国留学生と情報交換を行っている。

■ 問合せ先

<担当部署>
福井大学学務部国際課

住所：〒910-8507
福井県福井市文京3-9-1

TEL： +81-776-27-8406（直通）
FAX： +81-776-27-9715
Email：gk-iadexchange@ml.u-fukui.ac.jp

<ウェブサイト>
福井大学：<https://www.u-fukui.ac.jp/>